

令和4年度

学校教育計画



大阪府立住吉商業高等学校

目次

- (1) 学習指導の方針
- (2) 特別活動の方針
- (3) 道徳教育及び生徒指導の方針
- (4) 進路指導の方針
- (5) 人権尊重の教育の方針
- (6) 健康管理と指導の方針
- (7) 学校組織運営の方針
- (8) 教員の研修方針・研修計画
- (9) 重点活動の方針
- (10) 校務分掌・学級担任一覧
- (11) クラブ顧問一覧
- (12) その他（年間指導計画等）

(1) 学習指導の方針

1. 基礎基本の充実を基本に置き、わかりやすい授業をめざすとともに、商業科の特性を活かした授業展開をもとに、従来の授業実践とICT機器を活用した授業を融合し、生徒の知識・技能の向上をはかり、思考力、判断力、表現力を伸ばさせるよう取り組む。
2. 商業教育、観光教育、キャリア教育を系統的、積極的に推進し、職業人・社会人としてよりよく自己を活かし、協働し生きていくための基盤となる能力や態度を育成する。

3. 各教科の学習指導の方針

○国語

文学教材や論説文を用いて国語に関する興味・関心を高め、その中で自己表現の仕方や自己への理解を深める。また漢字や語彙などといった基礎学力の充実も図る。他に自己の考えをアウトプットできるように一人一台端末などを活用した表現やプレゼン学習を行う。

○地歴公民

社会の一員として基本的知識と社会性を身につけた人格の成長を促す。同時に社会の諸問題に関心を向け、公正な判断力をもった社会人の育成をめざす。また一人一台端末の利用等により、生徒自身が考え意見を発表するなど、生徒主体の授業方式を積極的に取り入れる。

○数学

基礎的事項の徹底をはかり、数学に対する基本的・効果的な学習態度、及び、事象を数学的に考察し処理する能力を養う。また計算力を養うため、演習の時間を多く取り入れる。

○理科

基礎学力の定着を図るべく、実験を多く実施し、視聴覚教材の効果的活用を実践する。また実験・観察などを通して理科への興味・関心を持たせ、実生活と結びつけて考えられるようにする。年度始めと終わりのアンケートで、自然科学に興味・関心を持つ生徒の増加を目標とする。

○保健体育

(体育)

体を動かすことの楽しさや、仲間とともに勝敗を分かち合ったりする面白さを実感し、生涯にわたってスポーツに親しむことができる能力を養う。また、集団のなかで、安全な行動ができる能力を育成する。

方法として、全体活動や個人活動での学習を通じて、お互いに協力しながら自主的に活動させる。

(保健)

「現代社会と健康」、「生涯を通じる健康」の中で、健康についての正しい知識を身につけ、現在及び将来において、主体的・自主的に健康の保持・増進を図ることができる態度を養う。

方法として、副教材などを活用して、健康に関する基礎的なことについて理解させる。

○芸術

芸術に対し、様々な観点から個々の生徒が興味・関心を持ち、個性を活かした創造性をもとに積極的、意欲的に創造活動に取り組む姿勢や態度を育成する。

○英語

英語の基礎・基本の定着を徹底することを目標とし、外国人指導員とのチーム・ティーチングやその他の言語活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。さらに、商業科の特性を踏まえ、実生活の中で生きる、教養としての英語力の向上についても生徒の意識を高め、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を身につけさせる。

○家庭

- ・生活に必要な知識や技術を身に付け、主体的に自分自身のライフスタイルを築いていけるよう学習する。誰もが生活を科学的にみる視点を持ち、自立意識と自らの手で生活を営もうとする態度を育てる。他者と交流したり共に行動したりしながら様々な考え方を知り、自分の考えを持ち、生き方を考えたりしながら、生活課題の解決を探ることができるようにする。
- ・個々人のライフスタイルが家族や地域の生活様式を創り、それが世界の生活文化を創ることを自覚し、次世代に継承すべき生活様式について意識させる。また、人の成長・発達や家族や地域の人々とのかかわりに関心を持ち、家族、地域、社会に参画し、共生社会の担い手となる態度を育てる。

- ・栄養、調理、繊維などの自然科学的視点だけでなく、生産、流通、文化などの社会科学的視点を統合し学習する。手を使って「もの」にはたらきかけたり、目や耳・舌など五感を使って実物に触れたり、調査活動をしたりするなど、実験・実習を中心に学習し、より実践的な知識・技術を身に付ける。

○商業

Society5.0による社会構造の変化や新型コロナウイルスによるビジネス社会の変容など、日々変化するビジネス社会においてその最先端で活躍する人材の育成を進めていく。また特色ある商業教育を展開し、生徒自身が自分の興味・関心に合わせた学習内容を選択できるようにコース制を導入する。

1年次は「ビジネス基礎」・「情報処理」・「簿記」の基礎科目を履修し、商業の学びの土台を作る。また、学校設定教科「ライフプランニング」を通じて自身のキャリアに対する考えを深め、希望する進路や自身の興味・関心に合わせたコース選択を行う。2年次からは『スペシャリストコース』・『ジェネラリストコース』・『観光コース』の3つのコースに分かれて特色ある商業の学習をしていく。

【スペシャリストコース】

検定試験の上位級を複数取得すること等により4年制大学への進学をめざす。検定試験の学習で身につけた知識・技能を活用する発展学習や、職業会計人・起業家による講演を多く実施する。卒業後も高度な資格取得をめざし、高度な知識・技術を必要とする専門職に就けるように主体的に学習する意欲を高め、知的好奇心を喚起する授業を展開していく。

【ジェネラリストコース】

「働くこと」をテーマに、社会に出てビジネス社会で働くためにはどのような能力や資質が必要なのか、それを身に付けるためにはどのような学習が必要なのかを逆算しながら商業の学びを構築していく。地元企業と共同でマーケティング実習を行うなど、実践的な学習を通じて商業の知識・技能を幅広く習得し、変化する時代にフレキシブルに対応していく人材の育成をめざす。

【観光コース】

地域のさまざまな団体と協力しながら「街づくり」を実践していくコースである。大阪万博とのコラボや地元商店街のシャッター通りの活性化、

古民家のリノベーションなどに取り組んでいくなかで企画立案や実行力、調整力、コミュニケーション能力の育成を図り、観光業に限らず幅広い分野で活躍する人材の育成をめざす。また、SDGsやダイバーシティ実現のために、さまざまな社会課題に関する知識と自身の考えを育む授業を展開する。

○ライフプランニング

自らがプレゼンテーションやスピーチを行い、また講話、グループディスカッション、インターンシップや学校見学などを通して、主体的に行動できる力やコミュニケーション力を養い、個々に応じた進路実現につなげる。

(2) 特別活動の方針

1. 生徒会活動や部活動を活性化し、集団としての規律、連帯感、協同の精神などを涵養する。また行事等のクラス活動を通して社会性の育成を図る。
2. 志学を中心に体験学習を通じて、生徒の人間としての在り方や生き方の自覚が深められるようにする。

(3) 道徳教育及び生徒指導の方針

1. 全体計画を作成し、全教員により生徒の諸活動のあらゆる場面を通じて、その道徳性の育成をはかるべく指導する。
2. 「明るく活力ある学校づくり」をめざし、「誠実」「明朗」で「進取」の気性に富んだ人間尊重を基盤とした豊かな人間性を有する生徒を育成する。
3. 生徒の多くが卒業後すぐに社会で活躍するため、基本的生活習慣の確立や、言葉使い・身だしなみなど生活全般にわたり指導する。

(4) 進路指導の方針

1. 生徒一人ひとりが、自分の将来の生き方へ関心を深め、自分の能力・適性等の発見ができるようカウンセリング機能の充実に努めるとともに、進路に関する適切な情報を提供するなど、ガイダンス機能の充実に努める。
2. 進学においては高校生活での学習成果と本人の将来への希望とを十分勘案して、適切な指導を行なうとともに、就職においては、ハローワーク等関係機関との緊密な連携のもとに、雇用者と本人の希望の調整に努め、生徒の自

主・自立的立場による行動を尊重する。

3. 生徒が自己の資質・能力・適性に応じて自主的に進路を選択し、将来の生活において自己を実現する能力を育てる。

(5) 人権尊重の教育の方針

1. 人権教育に係る国及び府の関係法令等に基づき、人権3法や府人権3条例が成立したことを踏まえ、あらゆる教育活動において人権教育を計画的・総合的に推進する。
2. 本校の人権教育を充実させるため、人間尊重の精神を養い、人権・平和教育を全教育活動に位置付ける。人間の尊厳とは何かについて自ら考え、主体的に行動できるような指導を行う。
3. 各種講演会、学習会（薬物乱用、情報モラル、支援教育）を開催し、教職員の意識の向上を図る。

(6) 健康管理と指導の方針

1. 健康診断を通じて、生徒自身が心身の健康の大切さを学び、健康状態の把握をさせる。生徒の健康が保持増進できるように全教職員と保護者の協力体制を整える。そのためにも保健室は円滑な健康診断の計画と事前準備を行い、生徒の健康情報をタイムリーに発信する。また、生徒自身の健康管理が、生涯を通じて行えるように健康生徒指導をする。

○保健管理

身体4測定
眼科検診
耳鼻科検診
歯科検診
内科検診
心臓検診
結核健診
尿検査
水質検査
空気検査
照度検査
色覚検査

○健康生徒指導目標

検診未治療生徒へ連絡
検診再治療生徒へ連絡
睡眠の重要性
熱中症対策
換気的重要性
マスクの重要性
手指消毒の重要性
感染症対策
校内美化協力要請
スクールカウンセリング 来校連絡

(7) 学校組織運営の方針

1. 「わかる授業、学力がつく授業、進路に結果をだす授業」をめざした取り組みを進める。
2. 商業教育、観光教育、キャリア教育を系統的、積極的に推進し、将来、職業人・社会人としてよりよく自己を活かし、協働し生きていくための基盤となる能力や態度を育成する。
3. 地域の期待に応え、生徒が楽しく、意欲的に学べる環境や取り組みの充実した学校をめざす。
4. 本校の特色ある教育体制の広報に努め、入学希望者の増加をめざす。

(8) 教員の研修方針・研修計画

1. 校内研修・研究授業等をとおして、教職員に求められる基礎的素養の育成を図る。
2. 校外研修で学んだ理論を校内で実践することをはじめ日常的なOJTの推進に努め、教職経験年数の少ない教職員の育成に心がける。
3. 統合ICTを活用した校務のICT化を進めるとともに、研修の充実を図る。
4. 人権教育、インクルーシブ教育、体罰防止、各種ハラスメントの防止、いじめ対応等の緊急の課題についての理解を深め、校内組織を活用して迅速かつ適切に対応できるように努める。
5. 教育センターや各種研究団体の主催する研修会への積極的な参加を奨励し、所属する分掌での研修報告を実施して互いの研鑽に資する。

(9) 重点活動の方針

1. 昨年度、延べ250校の中学校訪問、8回の校外での進路説明会、3回の校内での学校説明会を行った。本年は延べ300校の中学校訪問、10回の校外での進路説明会、6回の校内での学校説明会を目標に置き、学校の魅力を伝える。また、商業科について理解、興味を持ってもらうよう説明会を行う。

令和4年度 大阪府立住吉商業高等学校
 全日制の課程 商業科 教育課程実施計画

(入学年度別、類型別、教科・科目等単位数)

教科 科目	入学年度 コース・類型 学年(年次) 学級数	令和4年度															備 考
		スペシャリストコース					観光コース					ジェネラリストコース					
		①	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	計	①	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	計	①	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	計	
		1					1					3					
国語	現代の国語	②				10	②				10	②				10	
	言語文化	②				5	②				5	②				5	
	論理国語			3		3			3		3			3		3	
	文学国語		3			3		3			3		3			3	
	(学)文章表現			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
地理 歴史	地理総合	②				4	②				4	②				4	
	歴史総合		2			2		2			2		2			2	
	日本史探究			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	世界史探究			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
公民	公共		2			2		2			2		2			2	
	倫理			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	政治・経済			2		2			2		2			2		2	
数学	数学Ⅰ	③				3	③				3	③				3	
	数学A		2			2		2			2		2			2	
	(学)教養数学			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	(学)数学演習			4♦		4			4♦		4			4♦		4	
理科	科学と人間生活	②				4	②				4	②				4	
	生物基礎		2			2		2			2		2			2	
	(学)教養自然科学			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	(学)実験理科			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
保健 体育	体育	③	2	2		7	③	2	2		7	③	2	2		7	
	保健	①	1			2	①	1			2	①	1			2	
	(学)生涯スポーツ			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
芸術	音楽Ⅰ			2*		2			2*		2			2*		2	
	美術Ⅰ			2*		2			2*		2			2*		2	
	書道Ⅰ			2*		2			2*		2			2*		2	
外国 語	英語コミュニケーションⅠ	③				3	③				3	③				3	
	英語コミュニケーションⅡ		3	3		6		3	3		6		3	3		6	
	(学)英会話			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
家庭	家庭総合		2	2		4		2	2		4		2	2		4	
	(学)生活科学実験			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
情報	情報Ⅰ					0					0					0	情報処理により3単位代替
商 業	ビジネス基礎	③				3	③				3	③				3	
	課題研究			3		3			3		3			3		3	
	総合実践																
	マーケティング			3◎		3			3		3			3		3	
	観光ビジネス							4			4					4	
	グローバル経済			2◎		2			2△		2			2△		2	
	ビジネス法規			3○		3							2			2	
	簿記	④				4	④				4	④				4	
	財務会計Ⅰ		3			3											
	財務会計Ⅱ			5◎		5											
	原価計算		3			3											
	情報処理	③				3	③				3	③				3	
	ソフトウェア活用		3			3											
	(学)観光実務							2			2						
	(学)観光地理								3		3						
(学)計算実務								2△		2			2△		2		
(学)実務簿記												4			4		
(学)IT入門												3			3		
(学)エンドユーザーコンピューティング			3○		3												
(学)ソフトウェア応用			2◎		2			2△		2			2△		2		
学 観 光	(学)日本の観光資源			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	(学)文学で巡る日本			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	(学)大阪のトリセツ			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	(学)サブカルチャーに見る観光			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	(学)住商SDGs			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
	(学)旅行術入門			2♦		2			2♦		2			2♦		2	
国 語 外 語	(学)ライフプランニング	①	1	0		2	①	1	0		2	①	1	0		2	
教科・科目の計		②	29	29		87	②	29	29		87	②	29	29		87	
総合的な探究の時間		①	0	0		0	①	0	0		0	①	0	0		0	課題研究により3単位代替
特別活動	ホームルーム活動	①	1	1		3	①	1	1		3	①	1	1		3	
総 計		⑩	30	30		90	⑩	30	30		90	⑩	30	30		90	
選 択 の 方 法		3年次に※より1科目を選択 3年次に○より1科目を選択 3年次に◎より「財務会計Ⅱ」(5単位)か「マーケティング」(3単位)と「グローバル経済」「計算実務」「ソフトウェア応用」(各2単位)のうち1科目のどちらかを選択 3年次に◆より4単位科目から1科目または2単位科目から2科目を選択					3年次に※より1科目を選択 3年次に△より1科目を選択 3年次に◆より4単位科目から1科目または2単位科目から2科目を選択					3年次に※より1科目を選択 3年次に☆より1科目を選択 3年次に◆より4単位科目から1科目または2単位科目から2科目を選択					

令和4年度 進路指導年間予定表

4月	<p>LHR「自己理解と人生設計」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進路個人票提出 ○進路希望調査 <p>第1回 進路課題 進路個別懇談 進路説明会 予約奨学金説明会 予約奨学金説明会(保護者対象)</p>	8月	<p>就職希望者登校</p> <p>求人一覧表の配付・説明②</p> <p>求人票の閲覧</p> <p>進路個別相談</p> <p>受験希望会社申込票提出</p> <p>就職受験先の決定</p> <p>履歴書の作成</p> <p>就職関係書類完成・提出</p>
5月	<p>LHR「職業を持つということ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作文練習(自己を語る) <p>進路分野別説明会 進路説明会(保護者対象) 進路用個人写真撮影 進路相談</p> <p>第1回 SPI テスト スカラネット入力会 第2回 進路課題</p>	9月	<p>就職関係書類発送</p> <p>指定校推薦試験受験申込票提出</p> <p>模擬面接練習</p> <p>LHR「就職試験受験の諸注意」</p> <p>就職試験開始</p> <p>受験報告書の作成</p> <p>内定礼状の作成</p> <p>進学者個別懇談</p>
6月	<p>大学・短大・専門学校 AO 入試開始</p> <p>適性検査練習</p> <p>LHR「就職と人権」</p> <p>VTR「面接試験」等</p> <p>LHR「進路決定について」</p> <p>LHR「履歴書の作成について」</p> <p>LHR「面接試験に備えて」</p> <p>小論文 基礎講座開始</p> <p>第3回 進路課題</p> <p>進路相談</p>	10月	<p>専門学校出願</p> <p>大学・短大推薦入試開始</p> <p>進路相談</p>
		11月	進路相談
		12月	進路相談
		1月	<p>LHR「社会人となる心の準備」</p> <p>大学入試共通テスト</p> <p>進路相談</p>
7月	<p>求人受付開始</p> <p>第4回 進路課題</p> <p>第2回 SPI テスト</p> <p>大学・短大・専門学校指定校一覧表の配布・説明</p> <p>求人一覧表の配付・説明①</p> <p>求人票の閲覧</p> <p>応募前職場見学</p> <p>模擬面接練習</p> <p>進路個別相談</p> <p>三者懇談(担任・生徒・保護者)</p>	2月	<p>大学・短大一般入試</p> <p>進路相談</p>

令和4年度入学生 「志学」学習計画

	学年	科目等	取組概要
1	1	ライフプランニング	「自己紹介」スピーチ原稿作成(自己理解)
2	1	ライフプランニング	「自己紹介」スピーチ(自己理解)
3	1	ライフプランニング	「自己紹介」振り返り(自己理解)
4	1	ライフプランニング	講演会① 「コミュニケーション術」講演会(さんぼう)
5	1	ライフプランニング	講演会① 「コミュニケーション術」講演会(さんぼう)まとめ作成
6	1	ライフプランニング	講演会① 「コミュニケーション術」講演会を聴いてスピーチ
7	1	ライフプランニング	R-CAP受検(河合塾)
8	1	ライフプランニング	「上級学校調べ」
9	1	ライフプランニング	「上級学校調べ」スピーチ
10	1	ライフプランニング	R-CAP返却(河合塾)ワークシート作成
11	1	ライフプランニング	進路分野別説明会①
12	1	ライフプランニング	進路分野別説明会②
13	1	ライフプランニング	進路別見学会(大学・短期大学)①
14	1	ライフプランニング	進路別見学会(大学・短期大学)②
15	1	ライフプランニング	講演会② 「未来で働くために必要なこと」講演会(byさんぼう)
16	1	ライフプランニング	講演会② 「未来で働くために必要なこと」講演会を聴いてスピーチ
17	1	ライフプランニング	「金融経済教育～社会保険について～」説明会(byアツテミー)
18	1	ライフプランニング	講演会③「モチベーションアップ」講演会
19	1	ライフプランニング	講演会③「モチベーションアップ」講演会を聴いてスピーチ
20	1	ライフプランニング	ライフプランの作成①
21	1	ライフプランニング	ライフプランスピーチ①
22	2	特別活動	2年進路講演会①
23	2	特別活動	2年進路講演会②
24	2	ライフプランニング	講演会④「夢を持つことの大切さ」講座
25	2	ライフプランニング	講演会④「夢を持つことの大切さ」講座スピーチ
26	2	ライフプランニング	講演会⑤「キャリアトーク」(アツテミー)
27	2	ライフプランニング	インターンシップ①
28	2	ライフプランニング	インターンシップ②
29	2	ライフプランニング	インターンシップ③
30	2	ライフプランニング	インターンシップ④
31	2	ライフプランニング	インターンシップ⑤
32	2	ライフプランニング	インターンシップ⑥
33	2	ライフプランニング	インターンシップ⑦
34	2	ライフプランニング	インターンシップスピーチ
35	2	ライフプランニング	個別企業説明会

令和4年度 道徳教育の全体計画

関係法令等		
日本国憲法、教育基本法、学校教育法、高等学校学習指導要領、大阪府教育振興基本計画		
学校や地域の実態と課題	学校の教育目標	道徳教育推進体制
多くの生徒が卒業後すぐに社会で活躍することから、生活指導においては基本的な生活習慣の確立や、言葉使い・身だしなみの生活全般にわたる指導、学習面では基礎基本の習得と充実が必要である。	【校訓】 誠実・明朗・進取 【教育目標】 自ら将来を展望し目標達成に向かう自己実現力を育む。広い視野を持ち、自らの社会での役割を見出すことができる人材を育成する。生徒が楽しく、意欲的に学べる環境や取組の充実した学校を目指す。	・全教員により、本校道徳教育の重点目標達成のため、生徒の諸活動のあらゆる場面を通じて、その道徳性の育成をはかるべく指導にあたる。 ・各学級においては、HR担任および各教科担当者により、その指導計画・目標にもとづいて指導にあたる。 ・全学級、全学年に渡る場合は、関係各分掌で討議・調整を行い、それぞれの指導計画・目標にもとづいて指導にあたる。
道徳教育における昨年度の課題	道徳教育の重点目標	
社会との関わりや自らの役割を認識する力が十分には備わっていない。他者を理解し、協働できる寛容な心を育む必要がある。	「自他を尊重し明るく活力のある学校」をめざし、「誠実」「明朗」で「進取」の気性に富む人間尊重を基盤とした豊かな人間性を有する生徒を育成する。	
各教科・科目における関連	特別活動等における関連	
【公民科】 ・人間の在り方生き方について、又、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員としての自覚を養う。 【国語】 ・適切に表現し、的確に理解する能力を育成し伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。 【地歴】 ・時間や空間の違いによって多様な生活様式や思考様式があることを知り、多文化共生社会への基礎知識を持つ。 【数学】 ・数学の学習を通して、数学的な見方・考え方や良さを認識し、それらを活用する態度を育てる。 【理科】 ・自然に対する関心や探求心を高め、自然の中での人間の役割を理解させる。科学的に探求する能力と態度を育てる。 【芸術】 ・生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、豊かな情操を養う。 【保健体育】 ・健康や運動についての理解と合理的な実践を通して、体力の向上を図り、明るく活力ある生活を営む態度を育てる。 【家庭】 ・人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、生活に必要な知識と技術を習得させ、協力して家庭生活を創造するための実践的な態度を育てる。 【外国語】 ・外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーション能力を高めることで、相手の意思や意向を理解し自分の考えを表現できる能力を養う。 【商業】 ・商業の学習全体を通して、望ましい人間関係、社会性、主体性、独創性及び企業人としての考え方を養う。	【ホームルーム活動】 ホームルーム活動を通じて学校生活への適応を図るとともに、諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に努める。 【生徒会活動】 学校行事の企画や運営を通して自主的・実践的態度を育てる。また、週二回の早朝の挨拶運動を通して、基本的な礼儀が身につくように努める。 【学校行事】 体育祭(6月)・文化祭(10月)では、集団の一員としての自覚を深め、責任感を育てるとともに、達成感、自己有用感を持たせる。また、その他の学校行事を通じて、生徒の自発的な活動を支援し、自主性、社会性の育成に努める。 【部活動】 部活動を通じて、連帯感を育むとともに心身ともにたくましい生徒の育成に努める。	
家庭や地域との連携	異校種との連携	
家庭に対しては電話連絡や文書配布等による情報提供を行い、学校行事や授業参観への積極的な参加を呼びかけている。また、地域に対しては、「開かれた学校」を目指し、学校HPを適宜更新し、本校の教育活動の情報を数多く発信する。	近隣の中学校に対して、面接指導を行う。本校の商業教育で培ったビジネスマナーの一部を提供することで、社会性や主体性を身につけてもらう。	